

ワンルームマンション用・・・テレワーク・セット



【作品におけるテクノロジー的工夫の学習】

①材料、構造面での「丈夫さ」の工夫を知る

- (1) 机、いすの構造材の4本の脚はL材使用で前後左右の「揺れ変形」に対して、高い抵抗力を発揮する幅広のDL材の(1*5) + (1*4) 組合せのL材を知る。
- (2) 机の天板、いすの座板は12mm厚構造用合板を使用し、その比較的薄い天板、座板の垂直荷重に対する変形防止のために、幕板は(1*5)の幅広DL材を使用し、垂直荷重に対する「たわみ・変形」補強を知る。さらに、幕板と脚材との接合には、すべて接着剤併用で「4本の鉄丸釘の打ち付け接ぎ」と「幕板木口面の接着剤突き付け接ぎ」で、前後左右の「揺れ」に対する構造強度を高めていることを知る。
- (3) 貫材のない机、いすの4本の脚の前後左右の「揺れ変形」に対する補強として、幅広の(1*5)DL材の幕板による構造強度の向上を知る。

②「省資源と経済効果、軽量化」、「使いやすいデザイン」、「製作効率」の工夫を知る

- (1) 天板、座板は12mm厚合板の薄板で軽量化を行った。また、机、いすの貫材を省略し、使用材料数削減による省資源、経済効果、軽量化を図った。さらに、それにより製作効率の向上についても知る。
- (2) 貫材がないために足回りが開放的で使用しやすく、デザイン的にもシンプル感を増した。また、机、いすの脚・下部の勾配加工によるスマートな脚デザインを知る。